

 いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

室内で植物を楽しむ

長い冬に室内で鉢物の植物を楽しむ家庭も多いことでしょう。戸外で楽しんだ越冬できない植物を室内に入れることもあると思います。北海道の冬の室内は暖房をつけているために乾燥しがちだったり、逆に加湿になっているなど環境は家庭によってまちまちです。この際育てている植物がどのような環境が好きなのかよく調べて、自分の家の状況に合わせた育て方をしたいものです。そして植物たちの生き活きとした姿から元気をもらえると最高ですね。植物にたっぷり水をあげた後は、鉢カバーに溜まった水はすぐ捨てましょう。もしも植木鉢にカビが生えるなどしたら、表面を除菌ティッシュで拭き取るか、除菌スプレーを含ませた布やティッシュなどで拭き取るとカビが抑えられます。密閉した室内です。育てている人間の健康も大切です。(きのした)

冬の支度

今年は猛暑で狭い我が家の庭の草取りもままならず、かなりワイルドな庭と化していましたが冬に向けてやっとこ片付けを終えることができました。ほったらかしの庭というのは時に収穫があります。鳥の落としもの(フンのことですよ。)から思わぬ木が生えてきたり。(今年はコブシができました。)春にバラをかじるにつくきノネズミもなぜか庭にドングリを貯食したみたいであちこちからドングリの苗が出てきました。ドングリを貯めてあるならバラをかじらないでくれるとうれしいのですが…。そのほかにもシロヤマブキの実が落ちて苗ができていたり。(今年初めて発芽しました。)ただ、雑草に負けてしまう植物、繁殖しすぎて雑草のようになるものなどがあり来年はもう少し頑張らなければと反省しています。

(いとう)



バラ、野菜、花木の相談がベスト3

今年度(4～10月)の前半にみどりの相談コーナーを利用された方について内容をまとめてみました。年代別では40代が4割、30代が3割を占めています。相談の対象となった植物でみると、昨今の家庭菜園ブームもありバラ、野菜、花木が各15%、つづいて草花、果樹、庭園樹の順となっています。相談内容では、生育全般、病虫害、剪定で5割を占め、続いて植え付け、移植となっています。(かわはら)

シクラメンで華やかなクリスマス

寒い冬でも独特の形の花を次々に咲かせるシクラメン。うまく使いこなして、クリスマスを華やかに彩りましょう。冬の室内を彩るシクラメンは1株でも楽しめます。ミニサイズでは寄せ植え風にアレンジも可能で、玄関を華やかに飾り鉢カバーなどでグンとお洒落に様変わり。そんな遊び心で、寒い日々を乗り越えたいものです。注意事項は、球根に水をかけない事。底面給水可能。*シクラメン サクラソウ科シクラメン属 球根草花 10-35cm(たかはし)

*「今月の便り」次ページへつづく⇒

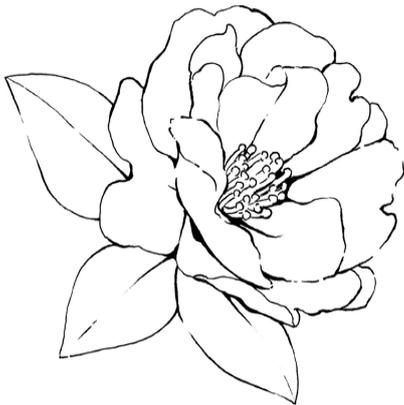
ポインセチア

12月に入ると、花屋の店先でひときわ目立つのがポインセチアですね。「クリスマスの花といえばポインセチア」といわれるようになった由来や、ポインセチアの花言葉について調べてみました。ポインセチアは、メキシコなどの中南米が原産地でトウダイグサ科の植物です。名前はアメリカの初代駐メキシコ大使であるポインセット氏の名前に由来しています。ポインセット氏は、メキシコで自生していたポインセチアを見つけ、アメリカに持ち帰り普及させました。日本に伝わったのは明治時代で、和名は「猩々木(しょうじょうぼく)」と言っていました。現在和名はほとんど使用されていないようです。花言葉は色によって異なります。ピンクは「思いやり」「清純」、白は「慕われる人」「あなたの祝福を祈る」です。ポインセチアがクリスマスの花とされるようになったのは色にあるようで、クリスマスカラーの赤・緑・白の3色が、赤は「キリストの血の色」、緑は「永遠の命や愛」、白は「純潔」を表し、葉が赤と緑、樹液が白のポインセチアは、まさにクリスマスにぴったりの植物です。また、花や苞(ほう)の形がベツレヘムの星を連想させることや、「聖夜」という花言葉を持つことも、クリスマスに使用される理由の一つであるとされています。クリスマスシーズンには、部屋や玄関にポインセチアを飾って、季節の移ろいを楽しんではいかがでしょうか。(ながやす)



室内公園 色彩館

サザンカ(山茶花) *Camellia sasanqua*
ツバキ科ツバキ属 原産地: 山口県および四国以南



よくツバキと間違われますが、花を見ずとも見分けることができます。葉が丸みを帯びツヤがあるのがツバキ、鋸歯(葉のフチのギザギザ)があり、葉が割と細長く裏にうぶ毛が生えているのがサザンカです。生垣に用いられることが多いので、色彩館の三角形仕立てのサザンカは本州の方が見ても珍しいそうですよ。

今月の開花情報



食卓に欠かせない納豆…納豆菌って

平安時代の書物にも記されていた納豆。納豆生成菌の分離成功によって、古代人が偶然発見した納豆生成のプロセスが科学的に解明されました。その菌こそが納豆菌です。納豆をつくるために利用される「納豆菌」は、稲などのわらに住んでいます。日本の気候、風土では、その生命力は非常に強いです。納豆菌を煮た大豆につけると、その栄養を成分にして繁殖し、大豆を納豆にします。40℃で一晩発酵させると1個の納豆菌が100万個位に増えるそうです。納豆1グラムには1億個にもなると言われています。

納豆のネバネバはなんで

ネバネバはグルタミン酸とフラクタンという物質でできています。グルタミン酸は納豆菌が大豆のタンパク質を分解することによってできます。フラクタンはネバネバを安定させる物質です。味はありません。



ひとつき
ひとバラ



文：田中 伸枝
(いわみざわ公園バラ園)



第六十七回

ハイブリッドルゴサローズ

ポラリス

Polareis

作出国：ラトビア共和国

作出者：Rieksta

作出年：1963年

ハーディネスゾーン：Z3

返り咲き性

交配：Rosa rugosa var. plena ×
Abelzieds (HRg)

バラの最盛期は6月下旬～7月上旬ですが、それよりひと足先に見事な姿を見せてくれるのが Polareis です。ハマナシとの交配種で、バラ園の一番山手にあるハイブリッドルゴサコレクションの一員として植えられています。花は直径5cmほどのうすピンクでフリル咲き。花芯にほんのり黄色が乗って、まるで貝細工のようなとっても美しく可愛らしいフォルムをしています。ひと株におびただしい数の花をつけ、葉をもりもりと健康的に茂らせる姿は圧巻で、一際目を惹いています。当園では石垣のベッドに枝垂れる姿を下側から楽しむこともでき、うつむき加減に咲くこの品種を観察するのにピッタリです。

交配は Rosa rugosa var. plena (八重咲きハマナシ) と、ピンク色で半八重咲きの Abelzieds です。さらに、Abelzieds は Rosa rugosa f. alba (白花ハマナシ) との交配種で、がっつりハマナシの血が入っていますので、耐病性と耐寒性に関しては言わずもがな、です。巾・高さともに2mほどになりますので、お庭の背景など修景的な役割として複数株で植えるとこの品種の良さが引き立つでしょう。お家の外周の一面にももりもりと植えていたらちょっとカッコいいかも？

ラトビア・サラスピルスの植物園に務めていた Rieksta 博士は、丈夫で花保ちが良く、なおかつ繁殖し耐病性があり耐候性のあることを目標に掲げ、バラの育種をしました。ラトビアの冬季の気候を調べてみると、最高平均気温は0℃前後、降水量は岩見沢の1/3程度と少なく、積雪はその年によって全く異なり3～4年に一度寒波が到来するとのこと。作出者の詳細な情報は分かりませんでした。HRg 系統の品種を20品種ほど作出していることから、ラトビアの厳しい気候にも耐えうるものを模索していたことが窺えます。

今回、当園での展示名と登録名に合わせて Polareis としましたが、実はオリジナル名はラトビア語で『夜明け』という意味の "Rītausma" で、作出国のラトビアがあるバルト海地域やスカンジナビア地域ではこちらの名前のほうがメジャーです。1960年代後半にロシアの植物園からバラを購入したドイツの会社がこの育種情報を持っていなかったため、1991年に "Polareis" と名付けて登録されましたが、のちに "Rītausma" と同一種であることが証明されました。ほかにメイアン社が "Polar Ice®" として販売していますし、"Kamtschatka" などの別名もあります。



冬期間も営業中～！

バラ園内にありますレストラン『PIZZERIA Lucci』は冬期間も営業中です。
営業は土日祝日のみで、営業時間は11:30～15:00(ラストオーダー14:30)で営業しております。

お問合せ ☎ 0126-31-6655

または 札幌本店へ ☎ 050-5798-2196

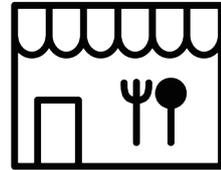
ピッツェリア

ルッチ

真のナポリピッツァ協会認定店

PIZZERIA

Lucci



クリスマス オカリナコンサート

12/8(日) 14:00 開演

場 所：いわみざわ公園バラ園内
室内公園「色彩館」 大温室

入園料：高校生以上 100円 小中学生 50円

※幼児無料

※障がい者手帳ご提示でご本人様と付添人様1名無料

12:00～15:30
クリスマス
ミニマルシェ
同時開催！

今月の市民園芸講座のご案内

これは面白い！



●1月13日(祝月) 13:00～15:00 折り紙でバラをつくろう 中級

料金：無料 定員：15名 講師：バラ園スタッフ

持ち物：筆記用具、おりがみ

●1月26日(日) 13:00～15:00 飾ってたのしい植物画～観葉植物編～

料金：材料代 1,000円 定員：10名

講師：木下京子さん フラワーマスター

持ち物：筆記用具、スケッチブック、パレット、ふで(丸筆大・小)